

コンセプトの言葉それぞれに込めた将来像の実現に向けた方針についての意見及び要約

コンセプト案			
集い つながり 豊かに育つ みんなのリビング “にしはらの杜”			

集い 【将来像】地域の人々が交流スペースなどを通じて自然と集まり、ふれあいや交流が生まれる、リラックスできる居場所			
グループ	原文	要約	方針
A	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所は利用されなければ意味がない ・目的の有無にかかわらず交流スペース ・多様な人が集まることによる治安対策 ・学校に集まりやすい道路整備 ・交通網(バス路線)の見直し、整備 ・静かな住宅地への通過交通の抑制 ・周辺道路の整備 ・電柱のない歩行空間 ・新青梅街道からの安全な通学路 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な人が集まり交流できる利用しやすい施設にしたい ・歩行空間や周辺道路の整備によって、学校に集まりやすい交通網をつくる ・電柱がなく安全で歩きやすい歩行空間を確保する 	<p>利便性と安全性を備えた集える拠点をめざす</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用しやすい仕組みを整え、気軽に立ち寄り、交流できる空間づくり ●拠点施設へ安心・安全に集まれる交通・ネットワークの形成
B	<ul style="list-style-type: none"> ・許可制、代表制は使いづらい。誰でも気軽に入れる、行きたくなる、面倒じゃないシステムに ・入りやすい雰囲気(施設) ・若い人が集まる環境づくり ・使い勝手を良くしてほしい(施設) ・人が集まりたくなる環境の創出(お祭りなど) ・地域の人が交流する、スペースする場は重要だと思う。飲食できる場があるとよい ・簡単な調理ができる場があり、人々が交流することができるようしてほしい ・総合施設に調理可能な場を保持してほしい ・教育施設と交流施設の住み分け、建て分けをきちんと。警備員をそれぞれ配置してほしい ・はなバスが繋がると便利。多摩六都～保谷スポーツクラブ～駅 ・はなバスのグリーンハイツへの乗り入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも気軽に立ち寄れる雰囲気づくりと、使いやすさを重視した仕組みを確立する ・飲食等ができる交流スペースを設けたり、お祭り等のイベントを開催するなど、人が集まりたくなる施設にする ・セキュリティにも配慮した建物配置と警備体制を目指す ・バス路線拡充による利便性の向上を図る 	

つながり 【将来像】防災機能や人々の助け合いを通じて深まる、人と人との絆			
グループ	原文	要約	方針
A	<ul style="list-style-type: none"> ・現保育園、児童館をスポーツのために・・・ ・学校周辺の空地の活用ができることよい ・トレーラーハウスα活用 ・西原総合跡地は芝生の公園に(カフェ、自由スペース、大きな遊具(プール側)、夏は水遊び、ベンチ、テーブル、木) ・西原総合はスポーツだけでなく様々な人が使える場所に ・夜間利用で人が集まりやすく ・住環境の確保 ・子どもだけではなくだれもがいつでも成長のチャンスみんなの成長のため 	<ul style="list-style-type: none"> ・西原総合教育施設など将来的に空地と想定される跡地には、各種スポーツができるグラウンドと、多世代がつながり、くつろげる機能を備えた居場所、多様な人が集まって利用できる場所を目指す ・良好な住環境の確保に努める 	<p>顔と顔が見える関係づくりを通じ、コミュニティ形成と防災の向上を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ●拠点施設での交流等を通じて、地域に世代を超えたつながりを育む ●誰もが安心して暮らせる地域を見据えて防災強化を図り、地域の良好なコミュニティを築く住環境を確保
B	<ul style="list-style-type: none"> ・総合施設の跡地にスポーツ施設をつくり、地域のつながり・健康の促進にしていければよい(現実的に中学校の体育館開放はむずかしいと思われるので) ・ジュニアからシニアまで誰もが集い憩える地域多世代交流センターまたはその機能を有する場の確保 ・高齢者が集まる施設がほしい ・入室管理システム使用するか? ・道路に対して木や電柱などの障害物を少なくしたい ・なるべく広い道路を造って欲しい ・消火栓・貯水槽の増設希望 ・団地の再生:エリアにおける生活利便施設・福祉施設の適切な配置 ・団地の再生:地区計画の策定と土地利用・建築規制の緩和 ・団地の再生:豊かな緑に囲まれた良好な住環境の維持整備と助成 ・団地の再生:団地の再生にかかわる市・都の助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の少子高齢社会も見据えた道路整備と施設建物設計を行う ・誰もが使いやすいセキュリティ面でも安心できる入室管理システムにする ・道路拡張や、防災設備の強化による防災対策を行う ・生活利便施設等の適切な配置や、地区計画策定と規制緩和、助成制度策定などを通じて団地の再生に取り組み、ファミリー層増加によるまちの活性化を目指す 	

豊かに育つ 【将来像】文化・食育・スポーツや学びを通じて育む、子どもたちの成長			
グループ	原文	要約	方針
A	<ul style="list-style-type: none"> ・防災について有志でサークル的・中学以上誰でもメンバーになれる ・サークル活動としての防災、みんなが集まれる ・学校を卒業しても継続できるような活動母体 ・西原総合教育施設の更地化、グラウンド化 ・西原総合教育施設の第二グラウンド化 ・けやき保育園、西原北児童館→テニスコート設営 ・トレーラーハウスの活用、グラウンド管理施設 ・豊かに育つ←子供以外、全世代が育つとしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動のように防災対策を進めていく自助、共助の輪をつくる ・西原総合教育施設の跡地はグラウンドとし、三中の第二グラウンドの機能も持たせる ・けやき保育園、西原北児童館の跡地はスポーツ等を通じて、子どもから大人まで成長できる場として活用する ・将来像を「子どもたちの成長」と限定せず、全世代が豊かに育つイメージにしたい 	<p>文教ゾーンの特性を活かした多世代での学びを目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多種多様な相談支援・行政サービスや居場所を提供し、自分らしく成長し続けられる環境づくり ●文化・スポーツを通じた子どもから大人までの多世代が成長を続けられる仕組み
B	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て交流センター的なもの。若い母親、柔らかな交流 ・児童館が放課後の子どもの居場所となると思います ・子育て環境としては保育園及び児童館のあり方が、その環境整備につながる。保育園の園児が自由に外あそびできるようにしてほしい ・数年後今の若者が育ったら空になるか?施設がムダにならないような!! ・芝のグラウンドが欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・親や子どもの居場所を確保し、子育て世代を支援できるエリアとして、まちづくりを実現する ・保育園児が自由に外あそびできる環境を整備する ・将来の少子高齢社会にも対応した施設を検討 	

みんなのリビング “にしはらの杜” 【将来像】自然に囲まれたリビングのような空間で人々の笑顔があふれ、心が安らぐ環境づくり			
グループ	原文	要約	方針
A	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの管理:公設→住民 ボランティア的に ・屋上緑化の民間開放 ・杜→学校での、木造校舎・太陽光発電・緑化(菜園以上) ・樹は山桜を ・公園にはカフェ、人が集まれる公園、屋台 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人のみどりに親しみ育てる環境をつくる ・木造校舎、太陽光発電、菜園、植樹など、学校施設を自然豊かで生産的な環境にする ・カフェや屋台など人が集まりやすい環境の場所にする 	<p>みどりと調和した拠点を創出し、安らげる空間を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然豊かで居心地の良い環境づくり ●みどりの中心地を考慮した拠点整備を検討
B	<ul style="list-style-type: none"> ・間口が広く入りやすいが、セキュリティはちゃんと。安心して使いたい。監視カメラの映像も利用も見られるなど。 ・屋上菜園は管理する人が必要となり、現実的ではないと思う。それより西原地区の畑が減らないようにできれば良いと思う。貸農園など。 ・農地の保全 ・みどりの保全 ・(グリーンハイツ)みどりを整備・維持するための助成がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも気軽に立ち寄れる雰囲気づくりと、安心できるセキュリティ体制を両立させる ・農地やみどりの保全のための行政と市民の協働できる仕組みづくりを推進する 	